

NUMAZU

まちの
感 触

vol.3

香

沼津の「香」にまつわる個店の深〜い話

NUMAZU

まちの
感 触

＼ SNSでも情報発信しています /



#沼津まち感

五感で感じる まちなか商業

沼津の駅前、いつもの日常、いつものまちなみ。通りすがりに、鼻をくすぐるいい香り。「はあく、このお店、とっても良い匂いがある…」なんとなく『香』が気になりはじめると、あのお店からも、この通りからも、個性あふれる『香』が漂っているではないですか！さらに、五感をフル回転してみると、日常に溶け込んでいたまちの色、音、匂い、手触り、その感触は、今まで見えていなかったまちの奥深い魅力に気付くきっかけとなりました。今回はそんな『香』をテーマに、沼津のまちなかの特徴ある個店取材。『香』に秘められたひとつひとつのお話には、深い深い魅力が詰まっています。さあ、いつものまちとお店を、ちょっと違った視点で楽しんでみよう！

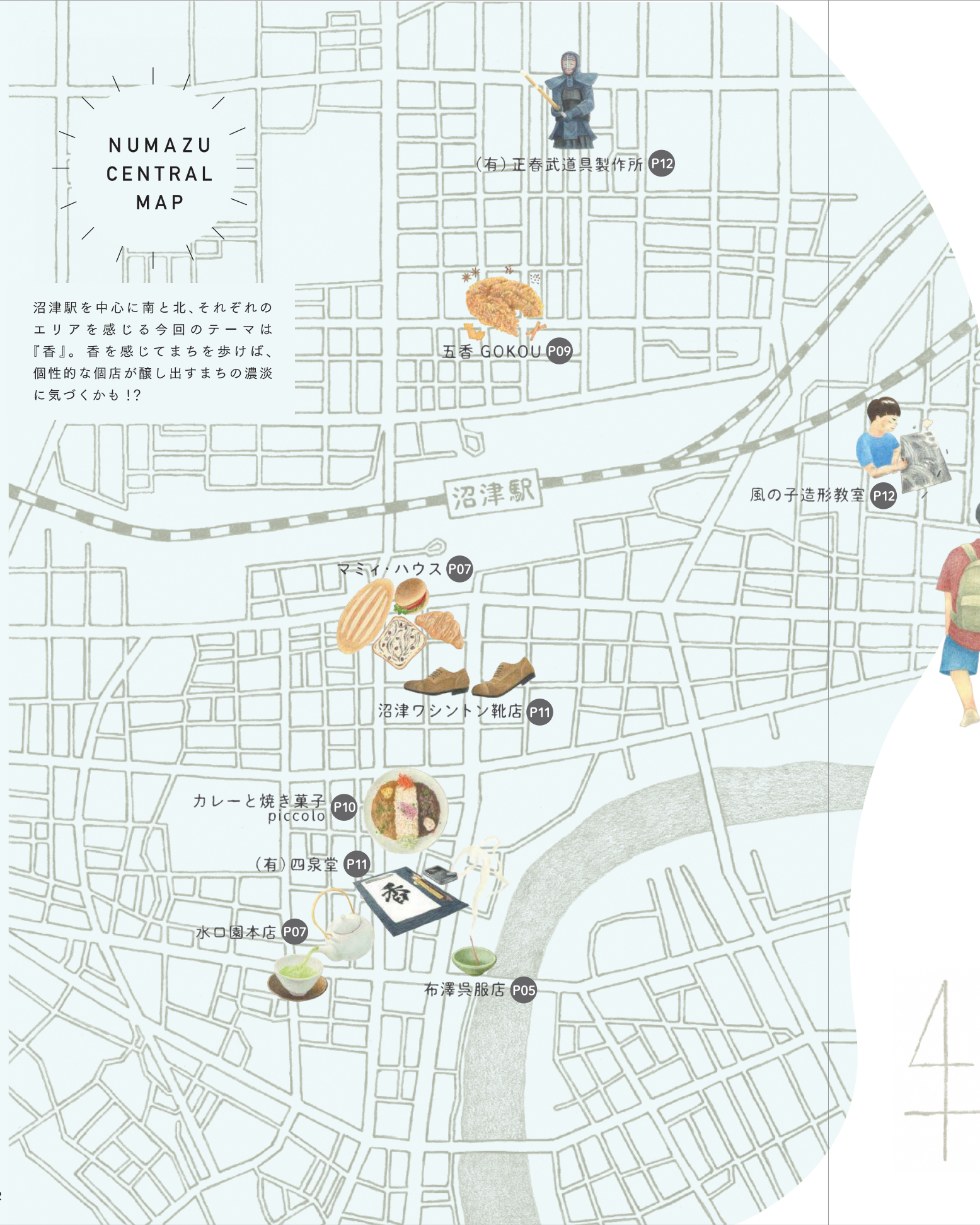


CONTENTS

- 02 沼津市中心市街地MAP
- 03 特集
鼻をくすぐる個店でまちの深みを感じる
～包み込まれる香～
- 05 布澤呉服店
- 07 水口園本店 / マミィ・ハウス
- 09 新星・奥深きスパイスの香
五香 GOKOU / カレーと焼き菓子 piccolo
- 11 フェティッシュな香りの世界
一度嗅いだらクセになる!? あの香り、この香り
(有)四泉堂 / 沼津ワシントン靴店 /
(有)正春武道具製作所 / 風の子造形教室
- 13 地域CREATORのまちなかの香
- 14 編集後記

NUMAZU CENTRAL MAP

沼津駅を中心に南と北、それぞれのエリアを感じる今回のテーマは『香』。香を感じてまちを歩けば、個性的な個店が醸し出すまちの濃淡に気づくかも!?



包み込まれる香、 その魅力



特集

鼻をくすぐる個店で まちの深みを感じる

いつ行ってもあのお店の香りは個性的で心地よい。空間に馴染むそのさりげない香りには、店主のこだわりやちょっとした気遣いなど、そのお店だけの『香』の理由があります。店内や通りまで漂ってくる良い香り、美味しそうな匂い、ちょっとマニアックな匂いフェチの空間…。まちなかで鼻をくすぐる個性的な『香』を深掘りしていくと、今まで知らなかったお店の魅力や隠れた秘話がありました。真似のできない個性的な香りは、お店の個性そのもの。その香りの多様性は、まちの深みそのもの！

例えば、老舗の呉服屋さん。お店に一步踏み入ると、品のあるとても良い香りに包まれます。いつ行っても香ってくるのは一体どこから？ その焚きしめる香りの種類やタイミング、それには深い理由がありました。香りからつながるお店の奥行き、知りたいと思いませんか？

店の奥にある鬼瓦は布澤の守り神。大正時代からある石蔵に実際使われていたもので、上土の大火も沼津大空襲もくぐり抜けた。採寸に使うものさしがモチーフになっているとも。



店先には祇園祭の粽(ちまき)。こちらは厄病・災難除けのお守りだ。



布澤には各種祝儀袋が用意してあるが、ペンは置いていない。文房具なら向かいの「総合事務用品フナイ」さんをお勧めする。お着物にあうリングや時計などは「宝飾・時計の市川」さん、お持たせなら「グランマ」さんというように、商店街の他のお店をお互いに紹介し合うことで商店街に人が巡る。そんな心地よさからか、上土商店街には創業100年を越える店がいくつもあつた。



布澤呉服店

静岡県沼津市上土町100-1
TEL 055-962-0653
営業時間 10:00~18:00
<https://nunozawa.com/>

定休日:水曜
f i

なんとなく香るくらいで
いいんです



開店前。店主の澤さんは店内と前の通りをていねいに掃き清め、お香にそっと火をつける。細く煙が立ち、店に香りが満ちる。開店30分前には燃え尽きて、ほのかな残り香となってお客様を迎える。「なんとなく香るくらいでいいんです。あまりきつい匂いだとお客様の邪魔になってしまうから。」創業安政2年の老舗布澤呉服店。6代目の健太郎さんが、着物と香りは昔から関係が深いのだと教えてくれた。着物を虫から守る「虫除け香」は、8世紀にすでに用いられていたという記録もある。「香り袋」をお太鼓帯の中に潜ませて、アクセサリのように香りを纏うなんとも奥ゆかしい文化も残る。おもてなしの香りに象徴される「さりげなさ」は、布澤の品物選びにも現れていて、ガラガラと派手なものではなくTPOに合った手描きの本物を揃えるようにしているという。お宮参りから旅立ちのその日まで、生活にそっと寄り添うお着物を見つけることができる。



懐かしい記憶のにおい やきたてパンは



マミィ・ハウスの眞田さんが小麦粉の匂い立つ店内でパンをつくる時。決まって流れているのはSBSラジオだ。沼津の街角に店を構えて8年。今では地元の人気店舗として幅広い世代に支持されている。商品に使う野菜のほとんどは同じ商店街の八百屋さんで調達する。ふとラジオからお気に入りの歌が流れても、その手が止まることはない。

毎朝5時に出勤してからお昼時までは、店の奥にあるオーブンをフル稼働させて黙々とパンを焼き続けるという。焼きたての香ばしいにおいが店の前の通りにまで広がって、多い時で60種類くらいのパンが店頭に並ぶ。中でも不動の一番人気はクリームパン。そしてあん食パン、食パンとつづく。

店の前で思わず立ち止まり、焼きたての香りを鼻腔から深く吸い込んで吐き出す頃には、トングとトレーを手にしているから不思議。そこはかとなく懐かしくてほっとする匂いの記憶に、人は抗えない。



焙じ茶葉のかおりは 風に乗って



水口園からふわーっと広がるのは「ほうじ茶」を焙じる香り。どこかレトロな見た目の専用マシンを店先に出し、直火で1時間以上かけてゆっくりにじっくり。そこはかとなくやさしい香りは風に乗って、商店街を吹き抜ける。

沼津市内に十数店ある茶葉の小売店。品揃えには店ごとの特徴が出る。中でも水口園のこだわりは、「クセや雑味が少なくクリア。キレもあるけれど旨味もちゃんと存在感を残しているお茶」だと店主の水口隆太さんという。物心ついてから今まで《毎日2リットル》の緑茶を飲んでいる水口さんは、明治5年から続く家業の4代目だ。



お茶をおいしく淹れる鉄則は、「80度で3、40秒」。茶葉が開いてきたら、急須をすこし傾けて小刻みに、そして静かに注ぐ。旨味が凝縮された最後の一雫までをいねいに。舌で味わうより先に、ふわっと立ちのぼる日本茶のアロマが心を鎮めてくれる。



マミィ・ハウス

静岡県沼津市大手町5-8-1 1階
TEL 055-951-9237
営業時間 7:30~18:30 (月・水は16:00まで) 定休日: 不定休
<https://mommy-h.jimdofree.com/>

水口園本店

静岡県沼津市町方町68
TEL 055-962-2102
営業時間 9:30~18:00 定休日: 水曜
f @

イタリア語で「小さい」を意味する店名「piccolo」は、音がかわいく、覚えやすいことから名付けたそう。



店主が自ら描いた、手作りの看板とイラストにも注目！



スパイスは元気の素！ 目指すはお客様を元気にする店

2021年3月末にオープン。カレーと焼き菓子は、店主の重枝亜美さんの大好物。共通食材「スパイス」は、掛け合わせることで複雑な旨みが出るうえ、分量が1グラム違うだけで香り・味がガラリと変わるのだとか。香りの良さだけでなく身体にも良い、そして、いくらでも組合せを考えられるところに魅力を感じるという。金曜日と土曜日のみ販売する焼き菓子も見逃せない。甘さ控えめでお酒とも相性抜群、人気の「チャイチーズケーキ」はスパイシーな香りが楽しめる。ワインと一緒に味わうのが店主イチオシ！食後のデザートはもちろん、焼き菓子のイートインも大歓迎！クラフトビール造りに携わったご主人の伸哉さん選りすぐりの「スパイスカレー屋がセレクトしたビール」でも豊かな香りを楽しむことができる。



カレーと焼き菓子piccolo

静岡県沼津市町方町38 TEL 070-8952-3894
営業時間 (昼)火水金土日 11:00~14:30 / (夜)木~土 18:00~21:00
定休日:月曜



カレーは週替わり。
1度に2種類のカレーが楽しめて
値段はそのまま、
“あいがけ”が人気！



奥様の万梨さんはドリンク担当。栄養満点「自家製麹甘酒」の、ふわっと広がる麹の香りを楽しんで。

お腹と心を満たす「五香」の料理で、 海外へプチトリップ！

東南アジア料理を味わえるテイクアウト専門店「五香」。日本のおいしい食材、自家製の塩麹、アジアンスパイスを掛け合わせたメニューが魅力のお店。厳選した国産の米、米麹、鶏肉を使用し、安心安全な料理を提供する、それが店主草野賢亮(ただあき)さんのこだわり。一番人気は、台湾で人気のストリートフード、ボリューム満点「五香特製台湾唐揚げ」。塩麹に1日、自家製醤油ダレにもう1日漬け込むことで、甘みや旨みがプラスされ、柔らかくジューシーになるのだとか。シナモン、クローブなどを配合した、オリジナル五香スパイスを仕上げに加えると、食欲を掻き立てる極上の香りが広がる。スパイシーな香りを漂わせながら、「五香特製台湾唐揚げ」片手に沼津駅周辺を散策する新しいまち歩きスタイルが誕生するかも。

五香 GOKOU

静岡県沼津市新宿町3-26 TEL 080-4468-2307
営業時間 11:30~14:30 / 16:30~20:00 定休日:日・月曜
<https://gokoukaraage.amebaownd.com/>

新星！ 奥深きスパイスの香

幾種類ものスパイスを調合した秘伝の味と香りが織りなす個店の個性は、まちの深みに繋がっていると思うのです。



揚げたての歯ごたえと食欲を刺激する香ばしさが病みつきに！
電話予約がオススメ！



世の中の大半には認めてもらえないけど、「私は好き!」という香りはありませんか?
意外とファンも多い(かも?) マニアックな香りの世界を紹介します。

フェ ティ ャ シ ュ な 香 り の 世 界

一度嗅いだらクセになる!? あの香り、この香り



店内には小山正洋さんが獲得した賞状やトロフィーが並ぶ。選手目線で選んだ商品だからこそ、周りからの信頼は厚い。



青春の汗! ...若き剣士の熱を感じる場所

創業100年を越える正春武道具製作所は、剣道・柔道など、広く武道に関する商品を扱う。速乾性で軽量化された道着など、武道の世界も現代生活に合わせて進化しているようだ。店主である小山正洋さんは、史上最年少の46歳で最高段位の剣道八段を取得、現役の剣士でもある。選手目線で選んだ商品はどれも信頼できる安心で安全なものばかり。その一方で「剣道、柔道も、華道や書道と同じ“道”の文字を持つ日本の伝統文化。だからこそ、日本でつくられた伝統的なものも大切にしたい」とも話す。小山さんのまっすぐな熱意と一緒に、武道に打ち込む若者たちの青春の汗もきっと店内に充満している。

静岡県沼津市庄栄町9-18 TEL 055-921-8017
営業時間 10:30~19:00 定休日:火曜・水曜
<https://masaharu-budo.easy-myshop.jp/>

(有)正春武道具製作所



墨と筆。筆は馬や鹿、羊など素材もさまざま。どちらも数千円から数万円を越える高額なものまである。



書道専門店で墨の香りを

上土商店街にある書道専門店の四泉堂の店内には書道半紙や筆、硯のほか、篆刻やちぎり絵用和紙など専門的なアイテムが並ぶ。書道部の学生や書道を習っている人が訪れるそうだ。よく見ると、ひょっとこの文鎮や桃の水差しはまるで美術工芸品のようで、眺めているだけで心が躍る。今回の目的のものは、店内の一番奥にある墨だ。墨を磨ることで立ち昇る香り...。この香りの正体は原料の膠の匂いを消すために使われた香料。墨によって使われる香料は異なるため、墨によって香りは違ってくる。墨を磨る時に感じるかすかな香りは、静かに心落ち着かせてくれる。

静岡県沼津市上土町77 TEL 055-962-8458
営業時間 9:00~17:30
定休日:日曜

(有)四泉堂



子どもたちの声が響く室内には、たくさんの画材と生徒たちの過去作品が並ぶ。

画材のにおいに包まれる芸術空間

一步踏み込むと絵具と紙など画材のにおいに包まれ、目の前には子どもたちの作品と謎の古道具たちが所狭しと並んでいる。風の子造形教室は4歳以上の子どもを対象に、週替りで絵画や工作を行う。ここでは、絵がうまくなることよりも、子どもたちの感情の発散と発見を大切にしている。この日は「ぶくぶく」をテーマにした木炭画で、画材の扱い方を教えると、あとは生徒の手先から生まれる創造性にまかしている。素材となる紙粘土をつくることから始めることもあるそうだ。画材の香りの中、真っ黒になりながら夢中で描く子どもたちを見ていると、ふつふつと創作意欲が湧いてくる。

静岡県沼津市山王台8-9 TEL 055-963-0552
営業時間 月曜~水曜のうち週1回(月4回) 14:30~18:30
月謝 5,000円 / 入会金 3,000円 ※無料体験あり
📍

風の子造形教室



シューフィッターがびったりの一足を提案する。革靴だけでなく、スニーカーや子ども靴、シニア靴専門のシューフィッターも常駐している。

革靴のお手入れの香りですリラックス

新品の革靴の香りもいいが、良質な靴を保革クリームでいねいにケアすれば、また新品とは違う香りを楽しむことができる。その上、ていねいなシューケアなら革の経年変化を楽しみながら、10年、20年と長く愛用できる。シューケアは大人のたしなみ...とはいえ、どこから始めたらいいのか迷う。そんな時は、沼津ワシントン靴店におまかせあれ。パッチェラーシューフィッターの資格を持つスタッフが靴に関する悩みに答えてくれるはず。また、こだわりのオーダーメイドシューズ製作や、シンデレラフィットの一足も必ずみつけてくれる心強い足元のパートナーだ。

静岡県沼津市大手町5-3-6 TEL 055-962-3296
営業時間 10:00~17:30 (水曜のみ10:00~17:00)
定休日:元旦
<https://www.n-washington.co.jp/>

沼津ワシントン靴店

編集後記



「五感で感じる」というテーマではじまった、まちなか商業の魅力発見BOOK、第3号は、「香」にフォーカスしました。それぞれの個店から漂ってくる香り、いつもとは違う個店の魅力に気付くきっかけになれば幸いです。さて、物質に直接触れて感じる味覚に対して、嗅覚は遠くからでも匂いを受け取れる便利な感覚です。目の前にあるものが食べられるものか、口に入れる前に全確認したり、見えない所にあるものを探したり、遠くの様子を知ろうとしたり、天気のようななどらえどころのないものを知ろうとするのにも使われます。また、物事の雰囲気やそこに何らかの予感がすることを「匂いがする」とか「臭う」など、嗅覚に関わる言葉で表すこともよくあります。「香」って、なんだか想像をかきたてると思いませんか？あなたの嗅覚センサーは、どんなまちの「香」をキャッチするでしょうか？五感を研ぎ澄まして、まちを歩いてみよう。

NUMAZU まちの感触 vol.3

2021年7月30日発行

発行 沼津市商工振興課

〒410-8601 静岡県沼津市御幸町16-1

制作進行

アートディレクション・デザイン

撮影 (表紙・P3~P6・P14)

イラスト

取材・執筆

増田陽一 (SBSプロモーション沼津支社)
大木真実 (NUMAZU DESIGN CENTER)
梁充克 (minori photo works)
大嶽りや (Lib.)
増田都佳佐
宮代博美
森岡まこば

(P9~P10)

(P5~P8)

(P11~P12)

本誌制作 地域CREATOR のまちなかの香



ライフワークになった、まちの隙間空間での映画上映会。まちなかにもある普段は使われていない空きビルや空き店舗が放つ、蓄積された時の重みを感じるようなずっしりとした独特の匂いの中でマニアックな映画作品を上映するという、この強烈なサブカルの香りが癖になっています。

大木真実



朝の散歩で出会う天井屋の伊豆屋さんから漂う香り。お昼時はごま油で天ぷらを揚げる、それはそれは食欲をそそる香りがお店の外までしていますが、朝は天井のタレを仕込んでいるであろう醤油と出汁の絶妙な香りがするのです。昔から変わらぬ、美味しい香りなんだろうなあ。

大嶽りや



香りは記憶の鍵。香りをキッカケに、幼い頃の記憶、過去の思い出や情景を一瞬にして鮮明に思い出すことがあります。沼津で食べたおいしい食事、歩いた時に感じた潮風、その香りと共にHAPPYな気持ちも沼津の思い出として訪れた方に残ると嬉しいのです。

増田都佳佐



雨の沼津市。雲行きが怪しくなって、風の感じが変わってきて、「雨」が降りそうかなと思っていたら降り出した時の「香り」。アスファルトや商店街が濡れ、狩野川に波紋が見え始めて、「まちなか」が雨モードになっていく時間が、結構好きです。

増田陽一



小学生の頃好きだったのは、近所のファンシーショップりぼんに売っていたビン入りの香りだま。グレープとかピーチとかの人工的な匂いがクセになって。ずいぶん前にお店自体はなくなってしまったけれど、ピンク色の外観を今でも鮮明に覚えています。

宮代博美



JR沼津駅から歩いて仲見世商店街に入ると感じる、食欲を刺激する香り。つつい足を止めちゃうのがたこやきサボちゃんの前です。「これから沼津の街へでかけるぞ!」と踏み出す前に、息子から「買って!」とせがまれて、つつい誘惑に負けて買ってしまいます。素通りできない場所です。

森岡まこば



夕方に、豊亭の前を通ると、唐揚げの香りにつられてふらふらとお店に入ってしまう。上土のピッコロのカレーの香りにも、つついられてしまいます。

梁充克